



姉齒元建築士の功罪

伯野 元彦¹⁾

1) 正会員 攻玉社工科短期大学、学長、工博
e-mail:hakuno@theia.ocn.ne.jp

要約

姉齒元建築士の耐震計算偽装事件は、勿論法律に違反した犯罪であるから社会的に糾弾され、処罰されることは当然であるが、この事件をきっかけに建物の耐震性というものも、美観、交通の便、居住性と同様に、または、それ以上に大事であることを、市民に知らせたという意味の功績もあるのではなかろうか。

キーワード:耐震計算、偽装、一級建築士

1. 耐震計算偽装

このところ、日本社会も米国流の自由競争社会になりつつあり、過当競争の結果、耐震計算偽装という人命にまで影響する事柄にまで及んだのかという気がする。ただこの問題はそう簡単なことではなくて、次のようないろいろなことを考えさせる問題ではないかと思う。

1. 1 社会の風潮。

確かに世間で言われているように、米国流の自由競争、拝金主義の結果、金儲けのためなら法律の範囲内なら何でもする、ばれなければ何でもする、たとえ法律を外れていても罰則が軽ければ何でもするという風潮の結果起こったことなのだと思う。建造物は建設された後、たとえ不正がなされていたとしても非常にばれにくいものである。最近でこそ非破壊検査技術が進歩したお陰で、この柱の中には鉄筋が何本入っているかまでわかるようになったが、今でもビルの基礎に打ってある杭の本数とか深さなどは正確に調査することは困難である。大地震があつて、壊れて初めて手抜き工事などはわかるのが普通である。今回、偽装が何でばれたのか私などは当初は不思議であった。

1. 2 民営化も良いことばかりではない。

郵政民営化をはじめとして民営化ばかりであるが、民営化は良いことばかりではない。というのは、公共の利益優先ということから企業の利益追求型になるということだから、安全第一ではなく利益第一になるということである。JR西日本の107名の死者を出した2005年宝塚線の事故も、列車が制限速度を超えて走行していた場合、自動的にブレーキを掛けるATS装置が設置されていたら、あの事故は防げたはずである。しかし、その費用は儲けをあげるための投資、すなわち、電車の美化とか高速化のように集客力を高めるための投資に向けられていたのである。安全第一のATSはいくら投資してもお客さんには何のための投資かわからないので集客効果はないのである。今回の耐震偽装問題も公共工事ではなかなかこのようなことは起こらない。というのは、公共工事は「鬼より怖い」といわれる

会計検査官がチェックするからである。ただこういうお役人が賄賂を貰って検査に手心を加えてしまっただけでは何のための検査かわからなくなる。したがって、お役人だけには収賄罪というものがあるが、そのへんは厳格になっている。民間には贈賄罪はあっても収賄罪というような罪はない。似たようなものに背任罪があるが、これはなかなか立証が難しく、接待ゴルフくらいで罪になることは殆ど無く、もっと大物対象である。ただ、したがって民営化すれば接待ゴルフとか営業関係の接待産業は活気付き景気が良くなったように見える。又事実景気も良くなるのであろう。

1. 3 パソコンの功罪

現在の耐震計算は、マンション程度の小規模のものでは、国交省で認定されたソフトを用いてパソコンで計算が行われている。パソコンは複雑な計算を高速で行うので非常に便利であるが、この計算書は部厚く、膨大な量の計算を含んでいる。したがって、その計算が正しいかどうかをチェックするには、そこに用いられているデータとソフトによって再計算するしか方法は無い。これには大変な時間がかかる。したがって、結局のところ、1平方m当たり用いられている鉄筋量と図面から大丈夫かどうかの見当をつけて、特に鉄筋量の少ないものについてやや厳密にチェックすることが普通であろう。このように便利に使われているコンピュータであるが、その仕事のチェックとなると非常に難しい。

1. 4 構造分野の建築士

現在の先進国で、若者の将来就きたい職業のベスト3は、建築家、医師、弁護士であると聞いたことがある。そういう意味で、一級建築士というのは、社会的に憧れの的の職業なのである。ただ同じ建築士といっても、専門分野が、意匠(デザイン)、設備、構造と分かれていて、総数約27万人のうち構造分野は1万人足らずと言われている。希望者は少ないのである。何故か。構造分野というのは、建物の安全を支える重要な分野ではあるが、縁の下を支える、脚光を浴びることの少ない分野なのである。日本の名建築家といわれる人々、丹下健三氏にしても、意匠(デザイン)分野である。これらの方々が、奇妙な建築を設計したとして逮捕されたなど聞いたことがない。構造分野の建築士は責任だけ重い役回りなのである。今後、構造分野の建築士によほどの優遇措置がとられない限りは、なり手がますます少なくなるであろう。同じ難しさの国家試験をパスしていながら、待遇にあまりの差があれば、そこへの希望者が減るのはやむを得ないことであろう。これは、医療過誤とからめて、医師が逮捕、起訴されて以来産婦人科の医師の希望者が減り全国的に産婦人科医師不足となっていることと同根である。

1. 5 既存不適格の建物

上記の言葉を1995年阪神・淡路大震災以降、耳にされた方は多いと思う。この震災で多くの建造物が壊れ、5500人以上の犠牲者が出た。同じような地震によって、同様に壊れる建造物は全国にまだまだあるのではないかということから、このような言葉が生まれた。すでに存在している構造物で、強い地震が来たとき、壊れる可能性のあるものを調べ補強するため、全国的に耐震診断、耐震補強が奨励されている。阪神・淡路大震災の被害を調査した結果では、軟弱地盤上の老朽木造家屋か、1980年以前に建設された構造物の一部が危険の可能性があるとあった。だが、新築の中にも耐震計算偽装のような建物がまぎれ込んでいるということは看過することのできない事態であると言える。別の言い方をすると、新築だからこのように大問題になったので幸運だったと思わざるを得ない。地震が来たら壊れるかもしれない構造物は、既存不適格の構造物として今回とは別に、現在まだ耐震診断も行われておらず、その数量はわからないながらも、数多くあるかもしれないことを忘れてはならない。

1. 6 法律の適用は過去にさかのぼらない。

何故このように、地震が来たら壊れるかもしれない建物がたくさんあるのか信じられない方も多いと思う。それは、そのような建物の大部分は1980年以前に建てられているからである。建築基準法は1981年に改正されているが、現在耐震偽装で騒がれている建物は、現在の法律に違反しているのである。1980年以前に建てられた建物はそのときの建築基準法に基づいて認可されているので、現在どんなに弱くても現在の法律に基づいて処罰されることはない。1981年に建築基準法が改正されたのは、それまでの法律に基づいて設計していたのでは、地震時に壊れる可能性があるから改正されたのである。又、建物、特に木造家屋は、高温多湿の日本では年々腐朽や虫害などによって、弱くなるので、地震で壊れるかもしれない建物は年々増えていく、これは木造家屋の宿命なのである。それだけに耐震補強が重要なのである。先日の07年3月の能登半島地震でも、かなりの数の老朽木造家屋が、ある地域に集中して倒壊したが、その柱などは腐朽と虫害で、穴だらけのボロボロで、倒壊するのも仕方ないといった状況であった。

2. 姉齒元建築士の功罪

耐震計算偽装をした姉齒元建築士の行為は決して許されるものではない。しかし、この事件のおかげで建物の耐震性というものが世間の注目を浴びたことは確かである。マンションの新規購入の条件としては、従来の交通便利、広さ、価格などを押しつけて耐震性が第一位に浮上ってきているという。又、耐震性に問題のあるオフィス・ビルではテナントが出て行ってしまう例があり、現在はそれらオフィス・ビルは耐震補強工事を行うことがブームになっているように一部の建設会社も耐震補強工事に追われ一時は注文を受けきれない状況であったという。阪神・淡路大震災以後、既存不適格の建物に対して全国的に耐震診断、耐震補強が声高に叫ばれ推進されてきたにもかかわらず、遅々として進まなかったのが嘘のようである。皮肉ではあるが姉齒元建築士の事件が、オフィス・ビル等の耐震補強工事促進の引き金になっていることは確かなような気がする。

(受理: 2006 年 7 月 4 日)

(掲載決定: 2006 年 10 月 17日)

Merits and Demerits of Behaviors of Mr. Aneha Structural Engineer

Hakuno Motohiko¹⁾

1) Member, President, Kogyokusha College of Technology, Dr. Eng.

ABSTRACT

Mr. Aneha structural engineer who camouflaged the earthquake-resistant computation of many buildings should be punished, because he acted against the Building Standards Act of Japan. However, he let the people recognize the importance of earthquake resistant properties of buildings, rather than the other ones, for example, appearance, accessibility, amenity of living.

Key Words: Earthquake-Resistant Computation, Camouflage, Structural Engineer